

令和4年度第1回狭山市総合教育会議議事録

開催日時 令和4年9月28日(水)
午後1時10分から午後2時7分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 市長 小谷野 剛
教育長 滝嶋 正司
教育長職務代理者 吉川 明彦
委員 橋本 秀樹
委員 宮崎 英子
委員 安河内 由香

欠席者 なし

事務局 生涯学習部長 内藤 光重
次長兼教育総務課長 關根 浩由
学校教育部長 田中 義久
次長兼教育指導課長 宇佐見 昌義
教育総務課主幹 上村 理恵

会議の公開・非公開 公開

傍聴者数 0名

議事

1 第2土曜授業日の見直しについて

(1) 土曜授業日のこれまでの経緯と第2土曜授業日の見直しに至った理由について

(要旨)

土曜授業日のこれまでの経緯と、第2土曜授業日の見直しに至った理由について、学校教育部次長より説明がなされた。

主な質疑等は次のとおり。

- ・(委員) 社会状況も変わり、第2土曜授業日も10年を経過しており見直しを検討する時期と考える。

(2) 第2土曜授業日及び働き方改革に関するアンケート考察と令和5年度以降の第2土曜授業日の見直しについて

(要旨)

教職員及び保護者を対象に行った第 2 土曜授業日及び働き方改革に関するアンケート結果の考察と、関係者からの意見等を踏まえた令和 5 年度以降の第 2 土曜授業日の見直しについて、学校教育部次長より説明がなされた。

主な質疑等は次のとおり。

- ・(委員) アンケート考察に、「保護者において、平日の時数が増えることに心配があるため」とあるがどのような内容か。
- ・(事務局) 下校時間が遅くなることから、防犯上の懸念と思われる。特に冬の時間帯が心配との声や平日はなるべく早く帰宅させてほしいという意見が出ている。
- ・(事務局) 平成 23 年度に第 2 土曜授業日を開始した際に、なぜ、平日の授業時数を増やさないで第 2 土曜日にもっていったかということにも関係するが、小学校では 6 時間授業が、例えば、今、週 3 回のものが週 4 回になったり、低学年も、4 時間で帰っている時間が 5 時間になったり、子供たちの 1 週間の授業時数が、単純に 1 時間増えることになる。第 2 土曜授業日の年間 30 時間分を削るとなると、その 30 時間分をどこかで作らなければならず、週の授業時数を増加して補填することになり、その結果、帰りが遅くなるとか、子供たちも習い事の関係とか負担や支障が出てくる。そうすると子供たちの疲れも毎日たまるのではないかと心配があり、それなら今のままでよいのではとの意見があった。
- ・(委員) 第 2 土曜授業日がなくなるということで、例えば、小学校では、その日にこどもまつりとかを学校行事に入れており、平日に行くことになるのか。
- ・(事務局) 平日開催ということも考えられるが、第 2 土曜授業日を 2 回は残す案としており、例えば、11 月にこどもまつりを実施する等、各校の工夫できると考えている。学校によっていろいろな考えがあるので、一律にこの日に実施するとは言えないが、工夫はできると考えている。
- ・(事務局) 今、第 2 土曜授業日は、授業時数を確保するために実施しているので、教職員の勤務の振替を長期休業日を取っている。年間の子供たちの授業日数が増えているということになる。しかし、運動会と同じように考えれば、土曜日に学校行事を実施して、次の月曜日等に振替休日を設ければ問題はない。例えば、こどもまつりも、第 3、第 4 土曜日に実施して、次の週の月曜日等を休みにしたり、金曜日を休みにしたりすることは、各学校の工夫で問題はない。今は、単純に、第 2 土曜日で授業日を増やしているという考え方なので、その振替は授業日を削らないで、授業日を確保したまま教職員が休みを取るために、長期休業日で休みを取っているという考え方である。
- ・(委員) 土曜日が毎週休みであった時は、例えば、小学校 6 年生は、週何回 6 時間授業を受けていたのか。
- ・(事務局) 毎週土曜日が休みの時は、クラブ・委員会の日を含めて 6 時間授業は 2 日だったと記憶している。学力が低下してきたということが社会的にも話題

となり、授業時数をもっと増やして、教育内容改善しなければいけないということで、学習指導要領が見直され、授業時数が増えた。

- ・(委員) 見直す時期にあるということがよく分かった。アンケート結果を見ると、先生と保護者の考え方の違いが分かった。保護者については、PTA 活動や授業参観があった関係で評判がよかったのだと思う。その一方、部活動がなくなり、民間のクラブチームに入っている子供たちが増えてきたり、習い事でも不都合が生じているのは 10 年前から言われていた。この先もそういうことが多くなってくると余計である。
余剰時間については現場でないと分からないが、既に他市では実施していることであるから、それを参考によく考えられていると思う。学校側も保護者もそのように思っているのであれば、無理して土曜日の授業を続ける必要もない。よく考えられた案なので賛成である。
- ・(事務局) 近隣市の 2 学期開始日は、それぞれの管理規則で規定されている。日高市は第 2 土曜授業日を実施していたが、令和 4 年度に廃止した。入間市・川越市・飯能市・所沢市は、当初から第 2 土曜授業日は実施しておらず、その代わりに、週の授業時数を増加する等の工夫をした。狭山市の場合、小学校で週 28 時間であるが、他市は 29 時間とし、6 時間授業の日を増やしている例もある。
- ・(委員) 市境に住んでいることもあり、入間市の状況も見ているが、他市の状況も参考にし、第 2 土曜授業日を廃止して新たな案に移行できたらよいと思う。
- ・(委員) 個人的には第 2 土曜授業日には賛成である。なぜかというと、長く PTA 役員をやっていて、運営委員会を、子供が家におらず、親が土曜日休みで集まることができる第 2 土曜日に行っていた。働く保護者が多くなり、土曜日の開催を希望する人が多く、PTA 役員のなり手も減ってくる中、第 2 土曜日であればという人が多かった。是非継続をと思っていた。しかし、教職員のアンケート結果を見ると、こんなに先生方が負担に思っているのかと思った。公開授業は土曜日で行きやすく、喜んでいる保護者も多いと思うが、先生方がこれほど負担に思っているのであれば、見直しでよいのではないかと思い直した。
- ・(委員) 授業時数を確保するための方策として、「学校行事の見直し」とあるが、具体的にどのような行事を見直すのか。
- ・(事務局) 新型コロナウイルス感染症の影響により 3 年間実施できていない市内体育大会について、これまでは、午前・午後の開催であったが、今年度は検討委員会を設けて、来年度の実施について検討する予定であり、時数を見直すことはできるものと考えている。また、校内音楽会についても、開催している学校と開催していない学校がある。学校の行事なのか、音楽の授業なのかということの考慮はあるが、その辺も工夫できるところではないかと考えている。ただ、学校行事は学校生活に潤いを与えるものであり、あまり削ることばかりではなく、十分削った中で工夫できることがないか考えてもらうよう、学校には

申し伝えたい。

- ・(事務局) 一つの例として、運動会について、例えば、午前開催になり、時間短縮のために、開会式・閉会式を少し省略させてもらい、例えば、今までは、学校によっては、グラウンドを一周して入ってくると、その行進をして入ってくるための練習時間を、行事として一時間、二時間とる。応援合戦のための時間をとる。それらを学校行事の時間として捉えていた場合は、応援席から入ってくる形に変えれば、一時間、二時間の指導の必要はない。そこで、学校行事の時間として取っていた時数を削るという見直しはできる。本番の時間を削るのは楽しみが減るので、本番に向けた練習の段階で省略し、学校行事の見直しを図ることはできると考えている。
- ・(委員) 授業時数の確保のため、8月28日に始業式を行うとあるが、真夏でもあり暑さの心配はないのか。ソフトランディングということは分かる。また、川越市は8月30日からとあるが、どのように授業時数を確保しているのか。
- ・(事務局) 熱中症の心配は校長会でも出ていたが、エアコンを完備しているので、学校に来てしまえば心配ないが、登下校の際には注意する必要があるという意見はいただいた。

川越市については、調べないと分からない。

- ・(市長) 正式に決めるまでに時間があるので、その辺は確認しておくように。
- ・(委員) 所沢市は規則に記載なしとあるが、どのような状況か。
- ・(事務局) 2学期制を3学期制に戻した現在も、2学期制の時にもそうであったかもしれないが、夏休みのところが明確でなく、同じ学区内においても、小中学校で始業日が違うということであり、学校ごとに決めているようである。
- ・(事務局) 校長会でも、小学校と中学校とでは意見が異なっており、小学校の方は、8月中にソフトランディングするということは、不登校の改善にもなるので賛成との意見が多い。中学校の方は、その時期に新人戦のプレ大会をやっていたり、そうすると午後も何か活動を入れてしまうのではないかという心配があって、できれば小中学校で、始業式の日をずらせないかという意見も出た。小学校では授業時数の確保ということもあり、早めに8月に始めたいという意見があるが、中学校としては、今まで通り9月がありがたいということで、この辺はもう一度検討するとして預かっている状況である。
- ・(委員) 学校は規則で決まっていると思うが、入学式は4月8日で、3学期は1月8日からであり、これは伸ばせないのか。
- ・(事務局) 管理規則を変えれば可能である。
- ・(事務局) 校長会の中でもいろいろな意見が出た。校長先生方もいろいろな意見をお持ちでなかなか揃わなかった。夏休みだけは確保してほしいという意見はあるが、どこかで授業時数を生み出さなければいけないということで、小学校の方は、モジュール授業等を工夫して行えば、35時間を確保できるとし、そうすることで、第2土曜授業日をなくし、9月1日始まりもできるのではないかという案も持っている。
- ・(事務局) 春休みの3月下旬と4月はじめの2週間は貴重で、その期間を減らす

というのは、現実的に難しい。3月の後半は学期末の成績処理や人の異動に伴う忙しさがある。何年か前には、終了式の後、土日が重なり2日間しかなかった時があり、そこで先生方が2・3月に実施した第2土曜授業日の振替を取れないということもあった。4月の年度初めは、学級編成等で8日始めがぎりぎりであるが、ゆとりをもって4月10日始めという意見もあった。さらには、2学期を12月28日までにしてはという意見もあったが、それに対しては、年末年始の家族の時間が減るなどの意見があった。そうすると、やはり長い40日間という夏休みの何日間を削るのが一番いいのではという案もある。9月1日始まりも、中学校は、元々、授業時数に余裕があるので、第2土曜授業日を削って30時間減ったところで9月1日始まりでも問題がなく、2年生は特に問題がない。3月14日・15日で卒業式を迎える3年生でも何とかできるだろう。中学校は夏休みを削ることについては、非常に抵抗感がある。小学校の方が、今の学校行事と授業時数、余剰時数を考え、30時間をどこかで作り出すためには、どこかにしわ寄せがいかないとどうしても授業時数が足りないことになる。例えば、週29時間で1時間プラスして下校時間を早める。これは他市でも行っており、掃除の時間を週1回なくして、その分6時間授業にして帰りを早くする。3時10分、15分に帰れるように日課表を工夫するなどの方法を取っているところもある。その方法であれば、9月1日始まりで、第2土曜授業日も削ることも可能である。また、ソフトランディングという考え方で、既に実行している学校もあり、1学期、2学期、及び3学期の始まり4日間位を午前中授業としている学校もあり非常に効果があるという話を聞いている。モジュール授業や週1時間増やすということで、授業時数が生み出せれば、ソフトランディングの方法も、もしかしたら学校の工夫によってはできるのかなど、いろいろな意見を聴いている。

- ・(委員) 見直しについての私の意見としては賛成ということで、すべて土曜日を休みにして週5日制の学校ということでよいと思う。今まで出なかった意見の一つとしては、土曜日スクールゾーンは、警察署にもお願いしたこともあったが、他市との兼ね合いもあり、土曜日のスクールゾーンは適用できないということで、土曜日は心配という学校もあるかと思う。スクールゾーンにならなくて、土曜日子供たちが学校に向かう中、自動車が通るとするのは心配な場所もあるので、そのようなことを含めると第2土曜授業日はなくしてもよいのかなと思う。
- ・(委員) 私も賛成ではあるが、先程の話のように、あまり下校時間が遅くなるのは、保護者も心配であり、なるべく明るい時間に帰れるような配慮を模索していただければと思う。
- ・(委員) いろいろな意見はあるかと思うが、教育委員会としては、こういう方向に向かうというある程度線を出してやらないといけないと思う。学校独自で考

えなさいというのもいいかもしれないが、教育委員会としては、ある程度きちんと方向性を示し、ここの部分を大事にするとか、徹底するとか、差がないという視点で押し進めてほしい。

- ・(委員) 狭山市として統一してほしいとは思ふ。小学校は夏休みが早めに終わって、中学校は9月1日からというのも、理由がはっきり、小学校は授業時数が足りないから早く2学期が始まるということが、保護者も分かってもらえれば、特に絶対揃えてということもないと思う。中学校は9月1日から始まるということが狭山市として統一するのであればよいと思う。
- ・(市長) これをさらに検討していく中で、学校がこのようになっていくと、他にも影響があると思う。給食のこともそうだし、学童保育室もそうだと思っており、そのあたりは、こういうことも影響が出るというところを検証する必要がある。ここを変えたらこのようになるつもりではなかったということが、往々にしてあると思うし、市内小中学生全員に大きな影響があることであり、今の時代、その辺は常に見ていかないと取り残されてしまうという考え方の方も少なからずいるので、学校の授業の見直しで波及する影響についても、慎重に検討してほしい。
- ・(教育長) まずは、方針が固まった段階で、行政内部に連絡会議のようなものを設けて、こういうことを考えているが影響があるかどうか、例えば、学童保育室の保育時間の延長とか出てくるので、そういったところで影響の確認をきちんとし、聞いていなかった、知らなかったということがないようにしたいと思う。

※今後、出された意見等を踏まえ、さらに検討を進めることとなった。

なお、事務局からは、今後、出された意見を踏まえ、見直し案を作成し、教育長決裁を経て市長に報告したのち、市議会、小中学校校長会幹部に報告する。また、関係課、関係各所には適切な時期に報告する。市立小中学校休業日における授業実施に係る要綱の改正についても適切に対応する。各小中学校については、次年度の年間行事予定にも関係してくることから、遅くとも12月末を目途に知らせられるよう動き、3学期以降に保護者や地域関係者に周知する予定である旨の説明がなされた。

以 上